

# 国連兵力引き離し監視隊 United Nations Disengagement Observer Force (UNDOF)

**設立年月** 1974年5月31日

**設立決議** 安理決議350(1974)

**展開場所** ゴラン高原 (シリア)

**本部所在地** キャンプ・ファウアル (Camp Faouar)

**司令官** Major-General Wolfgang Jilke (オーストリア)

**活動期限** 2007年12月31日 (安理決議1759(2007))

**任務** ゴラン高原におけるイスラエル・シリア間の停戦監視及び両軍の兵力引き離しに関する履行状況の監視

## 経緯・背景

### 1. 歴史背景とUNDOF設立

- (1) 73年10月6日、スエズ運河とシナイ半島においてエジプト・イスラエル間で、またゴラン高原においてシリア・イスラエル間の戦闘が勃発した(第四次中東戦争)。前者は第二次国連緊急軍(UNEF II)の設置により事態は収拾に向かったが、ゴラン高原とその周辺は不安定であり、戦闘行為が終結した後も双方による領空侵犯や砲撃が頻発した。
- (2) このような事態を受け、74年5月に米国の調停によりイスラエル・シリア両軍事代表が、  
(イ) 両国間の停戦、  
(ロ) 兵力引き離し地帯とその両側に装備・兵力制限地域を設置すること、  
(ハ) またその実施を監督する国連監視団の設置を求めること、を内容とする兵力引き離し協定に署名した。これを受けて安理は決議350を採択し、UNDOFの設置を決定した。
- (3) UNDOFは同年6月に活動を開始して以来、両当事国の協力を得てその機能を有効に果たしており、両国間の兵力引き離し地帯における武力衝突等の重大な事態は発生していない。

### 2. 近況

99年12月に展開されたイスラエル・シリア間の和平交渉は、翌2000年3月に暗礁に乗り上げて以降、中断されたままであり、その後のアサド・シリア大統領の死去(00年6月)やシリアによるヒズボラやパレスチナ武装組織への支援疑惑等により、交渉再開の目処はたっていない。両国間の停戦状態は基本的に維持されている。

067年6月5日付事務総長報告では、「UNDOFの活動地域では全般的に平穏が保たれている」とされているが、中東情勢全般については、「緊張が高い」とした上で、現下の情勢においては、UNDOFの継続が不可欠と報告されている。

## 派遣規模 (2007年8月31日現在)

部隊要員 1081名 (我が国は、96年2月以降、後方支援要員(43名)及び司令部要員(2名)の合計45名の要員を派遣しているが、そのうち15名の自隊管理要員(PKO要員であるが、主として自国部隊のための業務を行い、国連によって派遣経費が賄われないもの)は、上記1081名には含まれない。)。UNTSO軍事監視要員57名と協働。

※我が国は現在、部隊要員として30名を派遣中。

## 要員派遣国 (同上)

日本、オーストリア、カナダ、インド、ポーランド、スロバキア

## 犠牲者数 (2007年9月30日)

42名 (事故19名、敵対行為7名、病気6名、その他10名)